



2006年3月期 第3四半期 業績概要

2006年1月26日

アンリツ株式会社

社長 戸田 博道

(<http://www.anritsu.co.jp/j/ir>)

東証第1部:6754

第3四半期の総括

1. 第3四半期業績(連結)(4~12月)

売上高: 613億円(対前年同期比+8%)

営業利益: 17億円(対前年同期比△4億円)

経常利益: △2億円(対前年同期比△4億円)

2. 売上動向

事業別: 計測器は対前年同期比+13%

情報通信は対前年同期比△7%

地域別: 海外は堅調

3. 通期業績見通し

売上高: 910億円 (前回予想比△40億円)

営業利益: 40億円(前回予想比△10億円)

計測器は予定通り(売上高645億円、営業利益45億円)

旧NetTestとの統合計画は予定通り進捗

情報通信機器は大幅減少(売上高70億円、営業利益△17億円)

第3四半期(4~12月)業績概要

(1)損益およびキャッシュ・フロー 単位:億円 ()は前年同期比増減額 △:損失

	当第3四半期(4~12月)				前第3四半期	
	連結		単独		連結	単独
売上高	613	(+45)	295	(-19)	567	314
営業利益	17	(-4)	△ 10	(-13)	21	3
経常利益	△ 2	(-4)	△ 20	(-21)	2	0
税引前利益	△ 1	(-2)	△ 20	(-22)	1	2
当期純利益	△ 15	(-15)	△ 23	(-26)	△ 1	3
FCF	△ 68	(-110)			42	

(2)事業セグメント別(連結) 単位:億円 ()は前年同期比増減額 △:損失

	当第3四半期(4~12月)				前第3四半期	
	売上高		営業利益		売上高	営業利益
計測器	450	(+51)	26	(+2)	398	24
情報通信	33	(-2)	△ 14	(-3)	35	△ 10
産業機械	85	(+0)	3	(-4)	84	6
その他	45	(-4)	1	(+1)	49	0
計	613	(+45)	17	(-4)	567	21

(注)計測器の当第3四半期には、旧NetTestの売上高30億円、営業利益△4億円を含む

第3四半期(10~12月)業績概要

(1)損益およびキャッシュ・フロー 単位:億円 ()は前年同期比増減額 △:損失

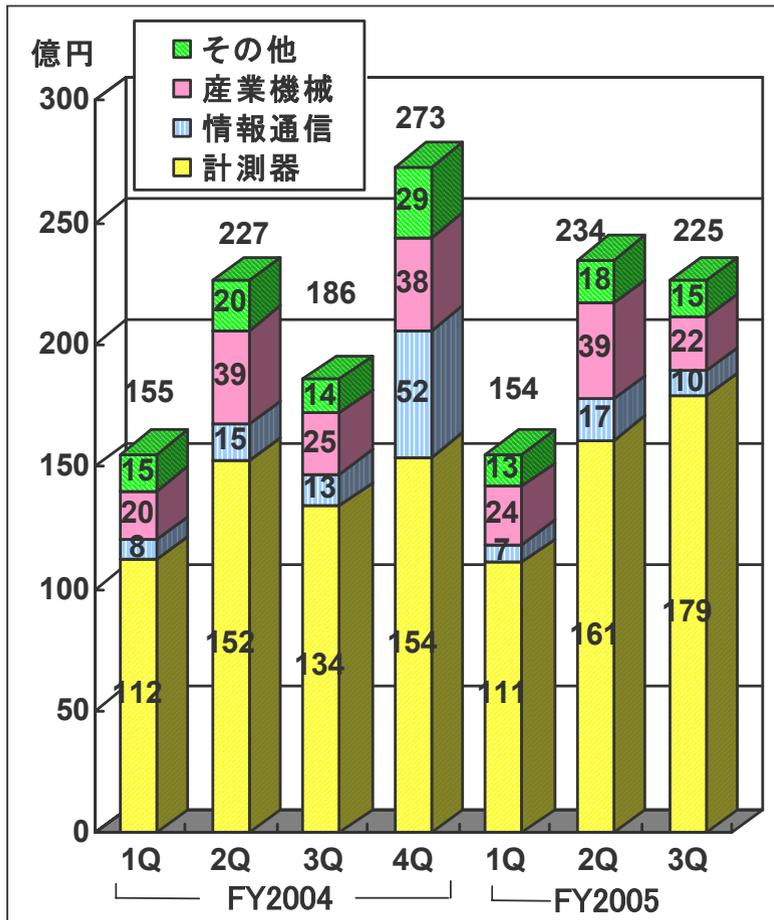
	当第3四半期(10~12月)				前第3四半期	
	連結		単独		連結	単独
売上高	225	(+39)	92	(-13)	186	105
営業利益	6	(-7)	△ 2	(-9)	13	7
経常利益	4	(-3)	△ 1	(-9)	7	8
税引前利益	5	(-4)	△ 1	(-9)	9	8
当期純利益	△ 2	(-11)	△ 3	(-12)	8	9
FCF	△ 4	(-7)			3	

(2)事業セグメント別(連結) 単位:億円 ()は前年同期比増減額 △:損失

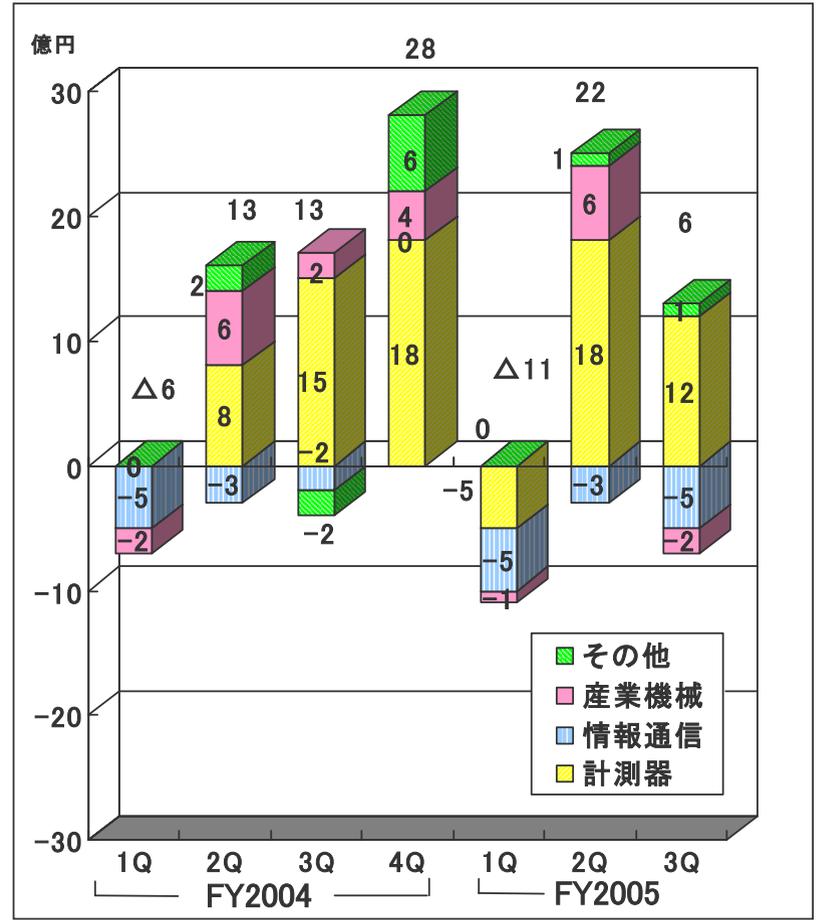
	当第3四半期(10~12月)				前第3四半期	
	売上高		営業利益		売上高	営業利益
計測器	179	(+45)	12	(-3)	134	15
情報通信	10	(-3)	△ 5	(-2)	13	△ 2
産業機械	22	(-3)	△ 2	(-4)	25	2
その他	15	(+1)	1	(+3)	14	△ 2
計	225	(+39)	6	(-7)	186	13

(注)計測器の当第3四半期には、旧NetTestの売上高30億円、営業利益△4億円を含む

事業セグメント別業績(連結)

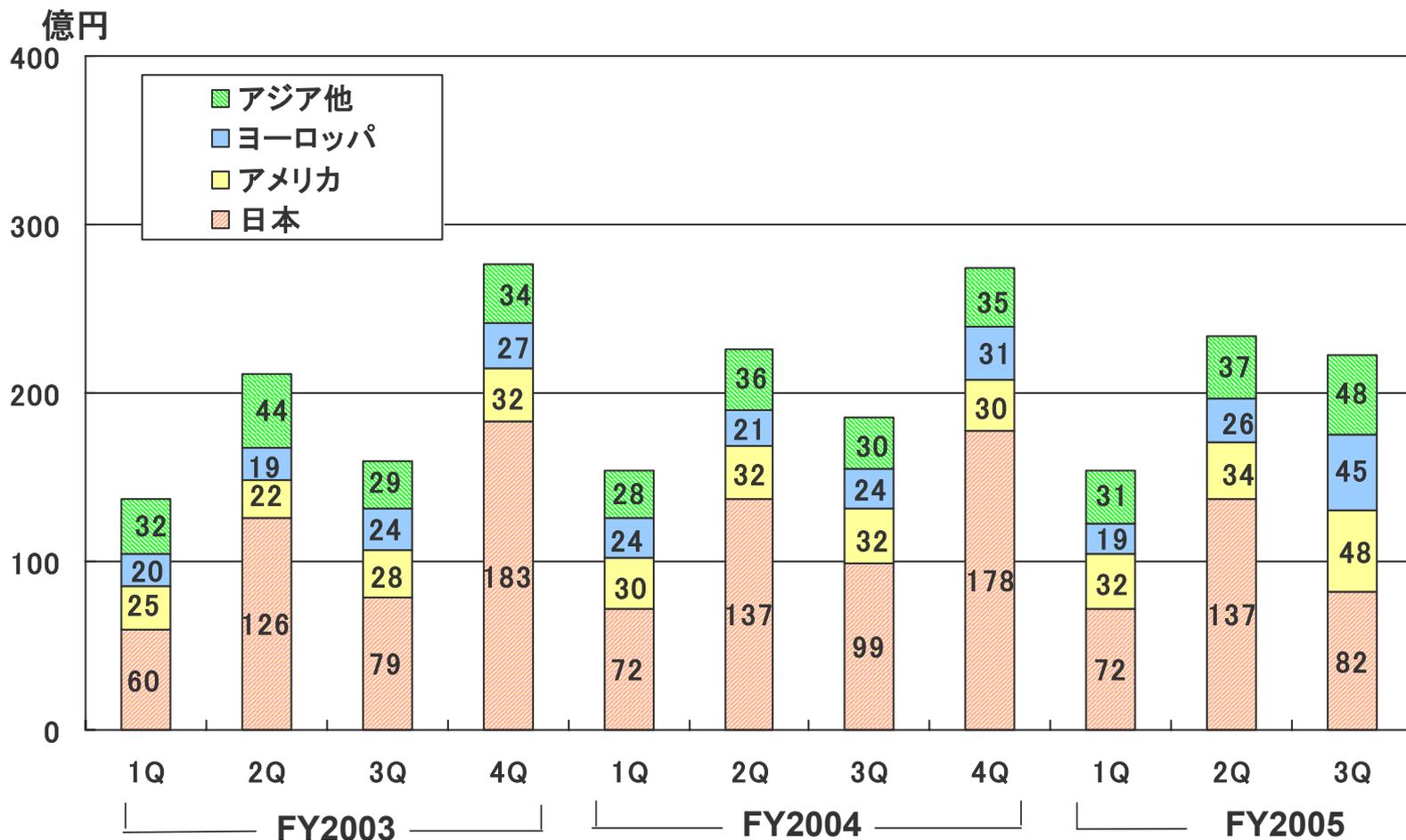


売上高



営業利益

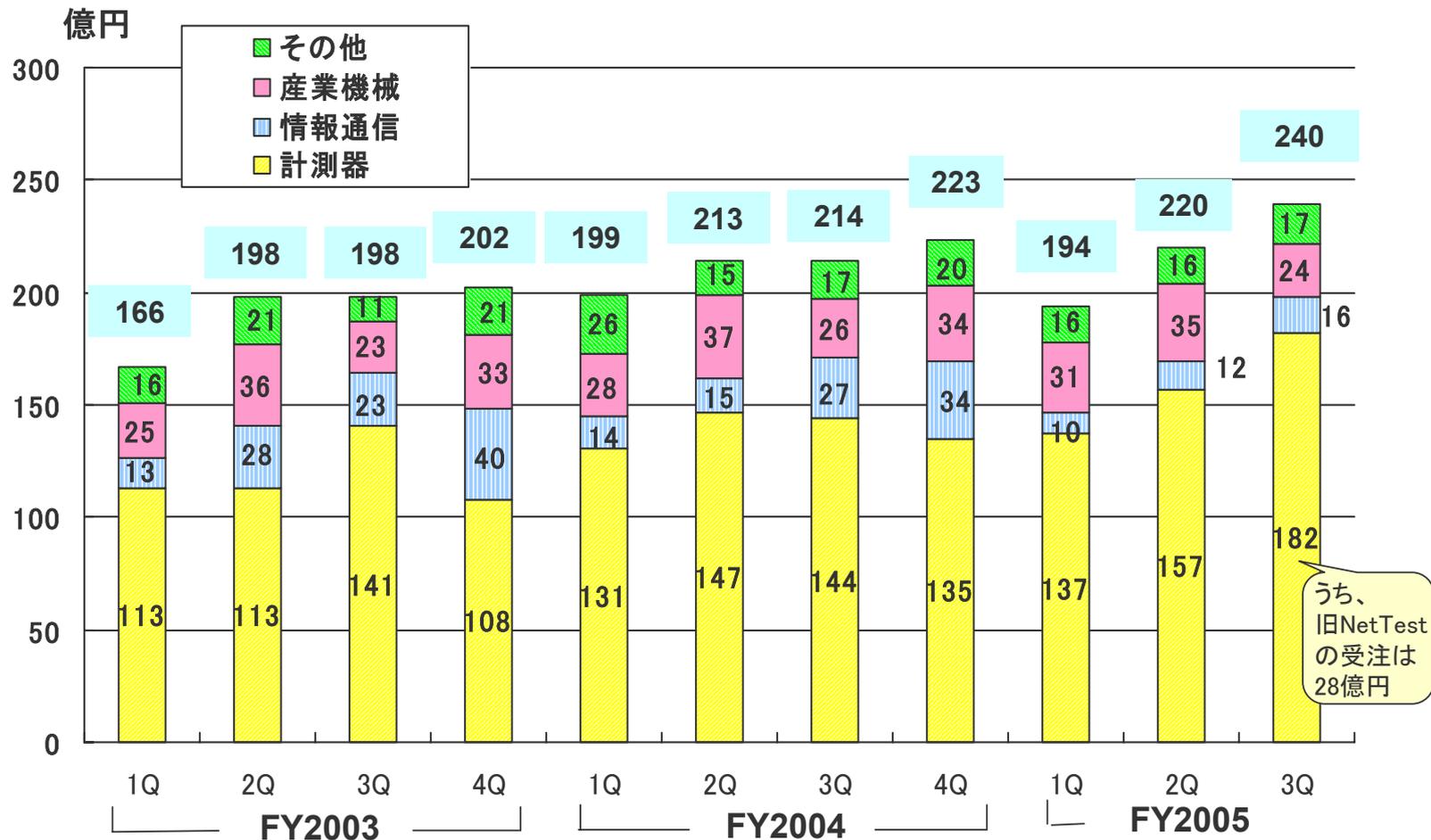
地域別売上高推移（連結）



Discover What's Possible™

Anritsu

セグメント別受注推移（連結）



営業外・特別損益概要(連結)

△:損失(百万円)

		当第3四半期 (4-12月)	前第3四半期 (4-12月)
営業利益		1,655	2,058
	金融収支	△ 684	△ 645
	棚卸資産評価損等	△ 1,115	△ 1,050
	為替差損益	520	△ 100
	その他	△ 572	△ 72
営業外損益計		△ 1,851	△ 1,867
経常利益		△ 196	191
	固定資産売却損益等	150	△ 15
	その他	△ 19	△ 37
特別損益計		131	△ 53
税引前利益		△ 64	138

為替レート(ドル円):1\$=107円(4月初)、115円(12月末)

連結キャッシュフロー概要

当第3四半期(4-12月)

①営業CF: 19億円

②投資CF: △88億円

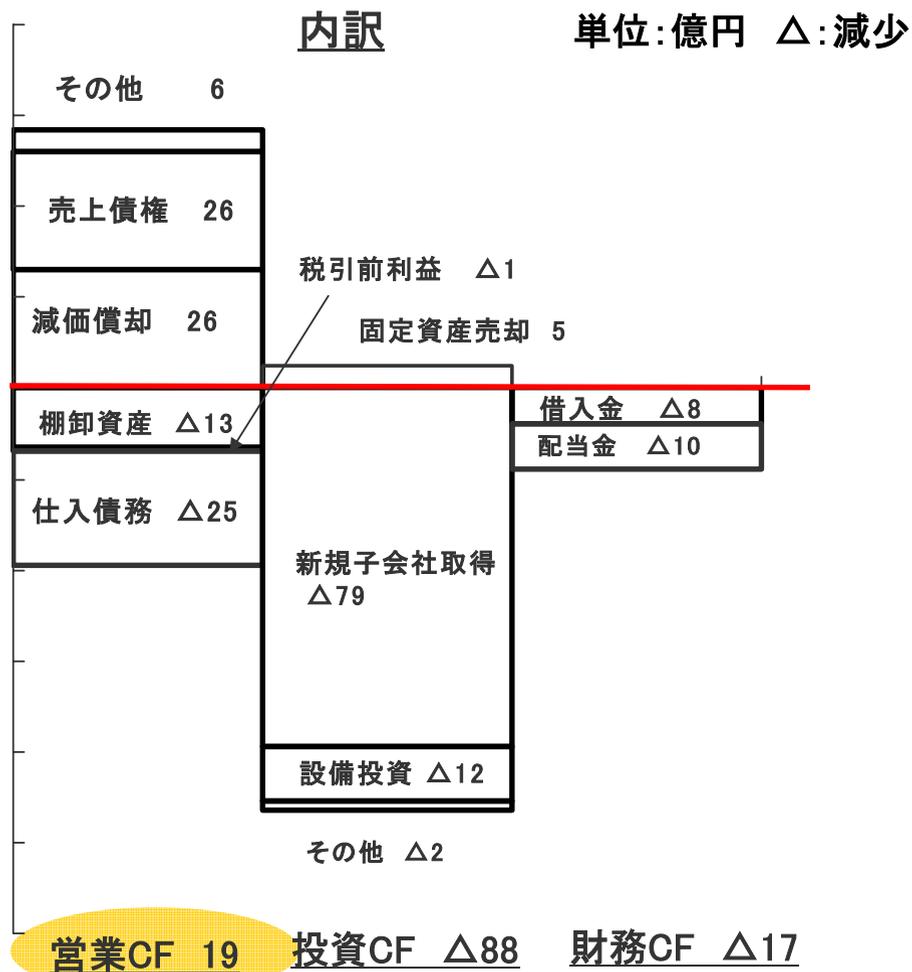
③財務CF: △17億円

フリーキャッシュフロー

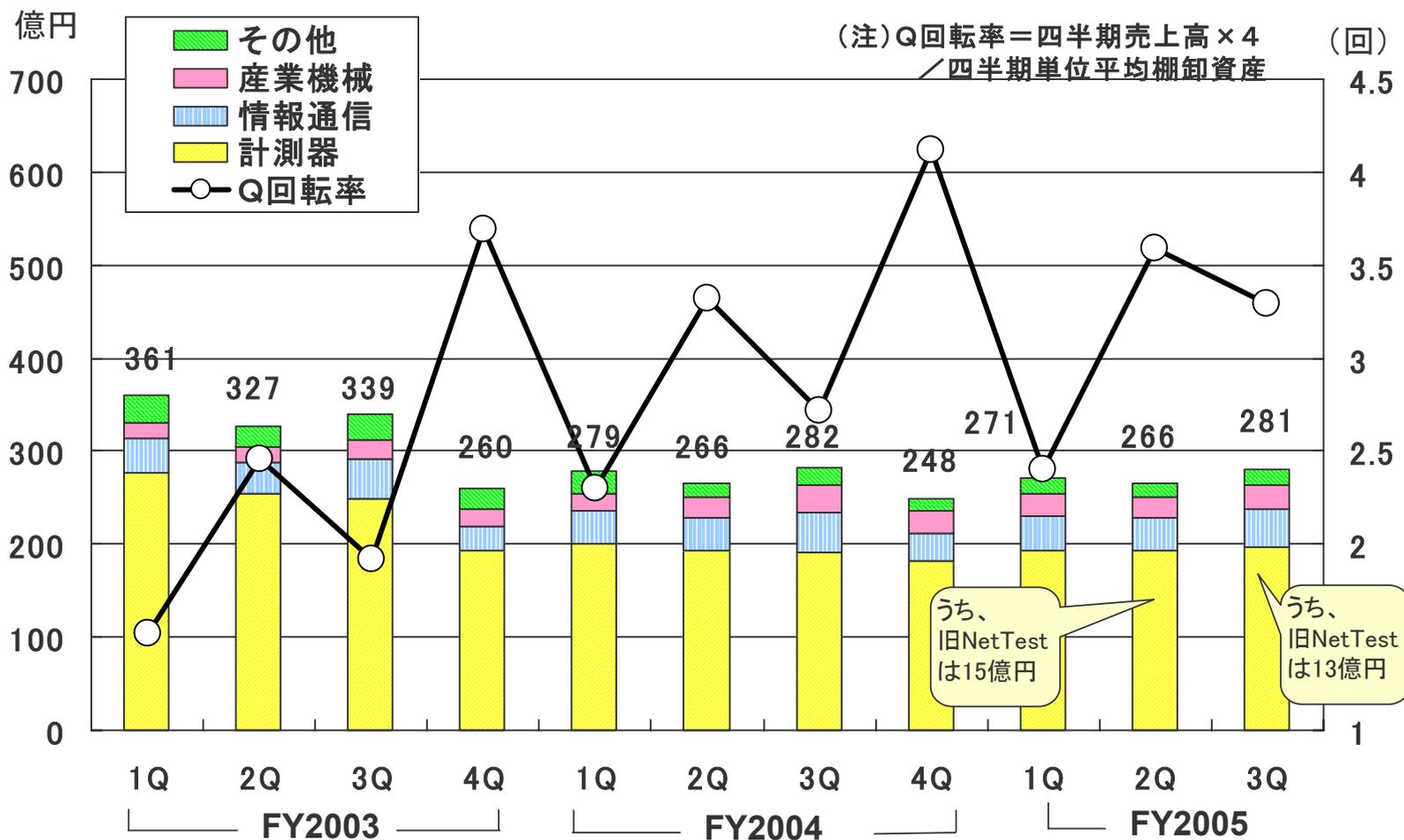
(①+②): △68億円

現預金の期末残高

251億円



棚卸残高推移(連結)



2006年3月期 年度業績見通し

[連結は旧NetTestを含む]

(1)損益及びキャッシュ・フロー

単位:億円 ()は前期比増減額 △:損失

	当期見通し				前期実績	
	連結		単独		連結	単独
売上高	910	(+70)	470	(-27)	840	497
営業利益	40	(-9)	5	(-14)	49	19
経常利益	10	(-10)	△ 12	(-23)	20	11
税引前利益	10	(-11)	△ 12	(-24)	21	12
当期純利益	△ 3	(-16)	△ 9	(-22)	13	13
FCF	△ 70	(-152)			82	

(2)事業セグメント別(連結)

単位:億円 ()は前期比増減額 △:損失

	当期見通し				前期実績	
	売上高		営業利益		売上高	営業利益
計測器	645	(+93)	45	(+3)	552	42
情報通信	70	(-17)	△ 17	(-7)	87	△ 10
産業機械	125	(+3)	8	(-2)	122	10
その他	70	(-8)	4	(-2)	78	6
計	910	(+70)	40	(-9)	840	49

(3) 配当 1株につき7円(うち期末配当3円)の予定

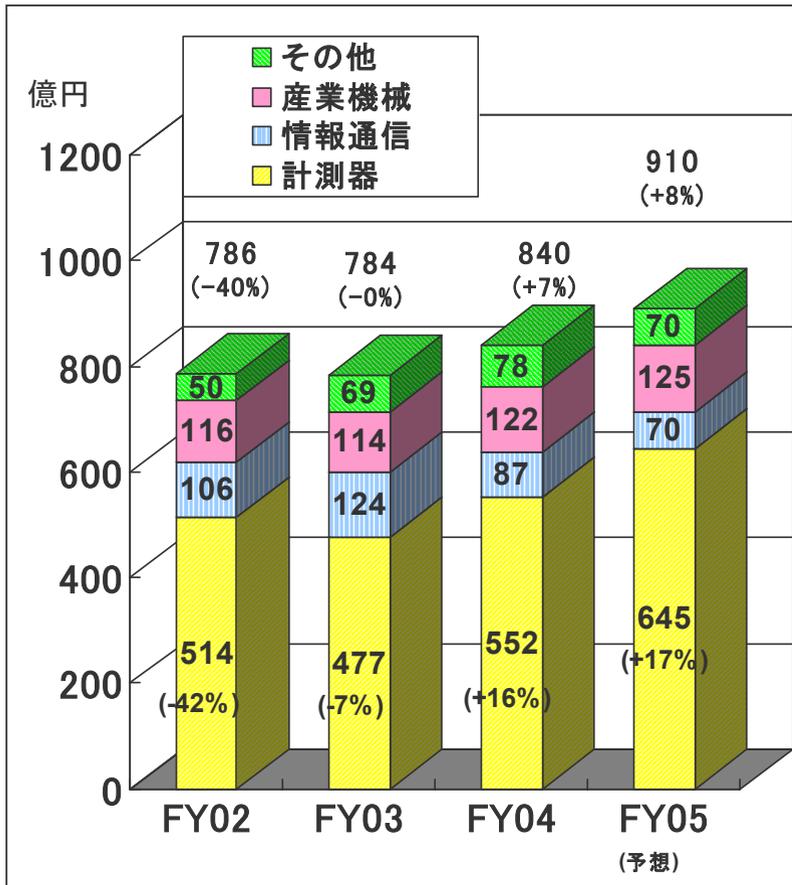
Discover What's Possible™

(注)値はそれぞれの欄で四捨五入している

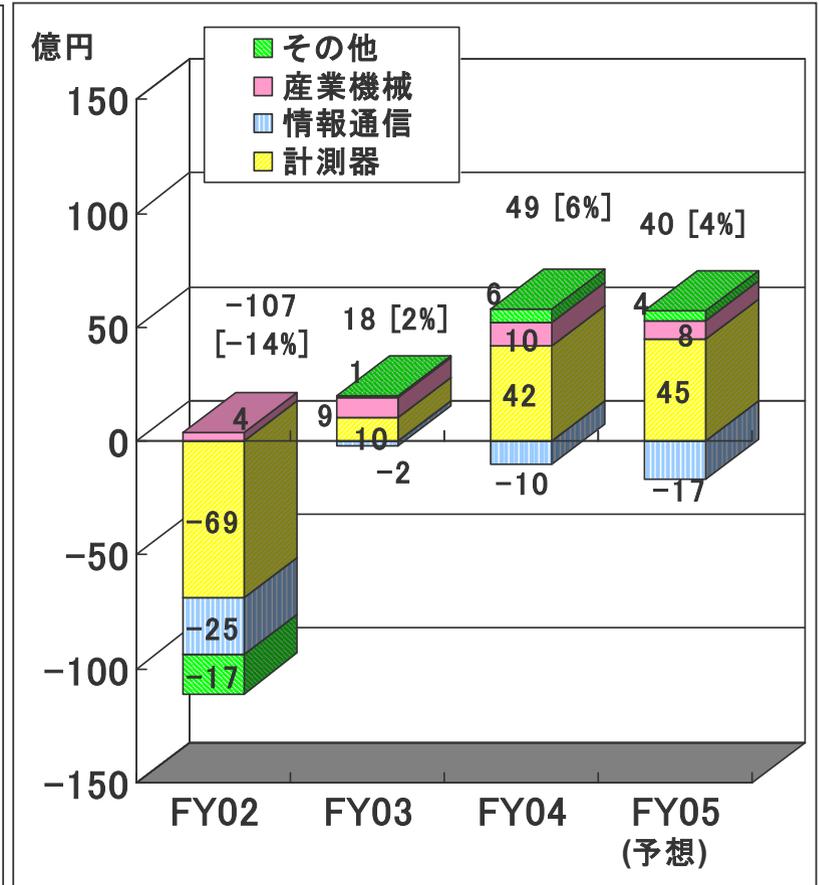
Anritsu

事業セグメント別業績見通し(連結)

[FY05は旧NetTestを含む]



売上高 (%) : 対前期伸率



営業利益 [%] : 営業利益率

2006年3月期 年度業績見通しの比較(参考)

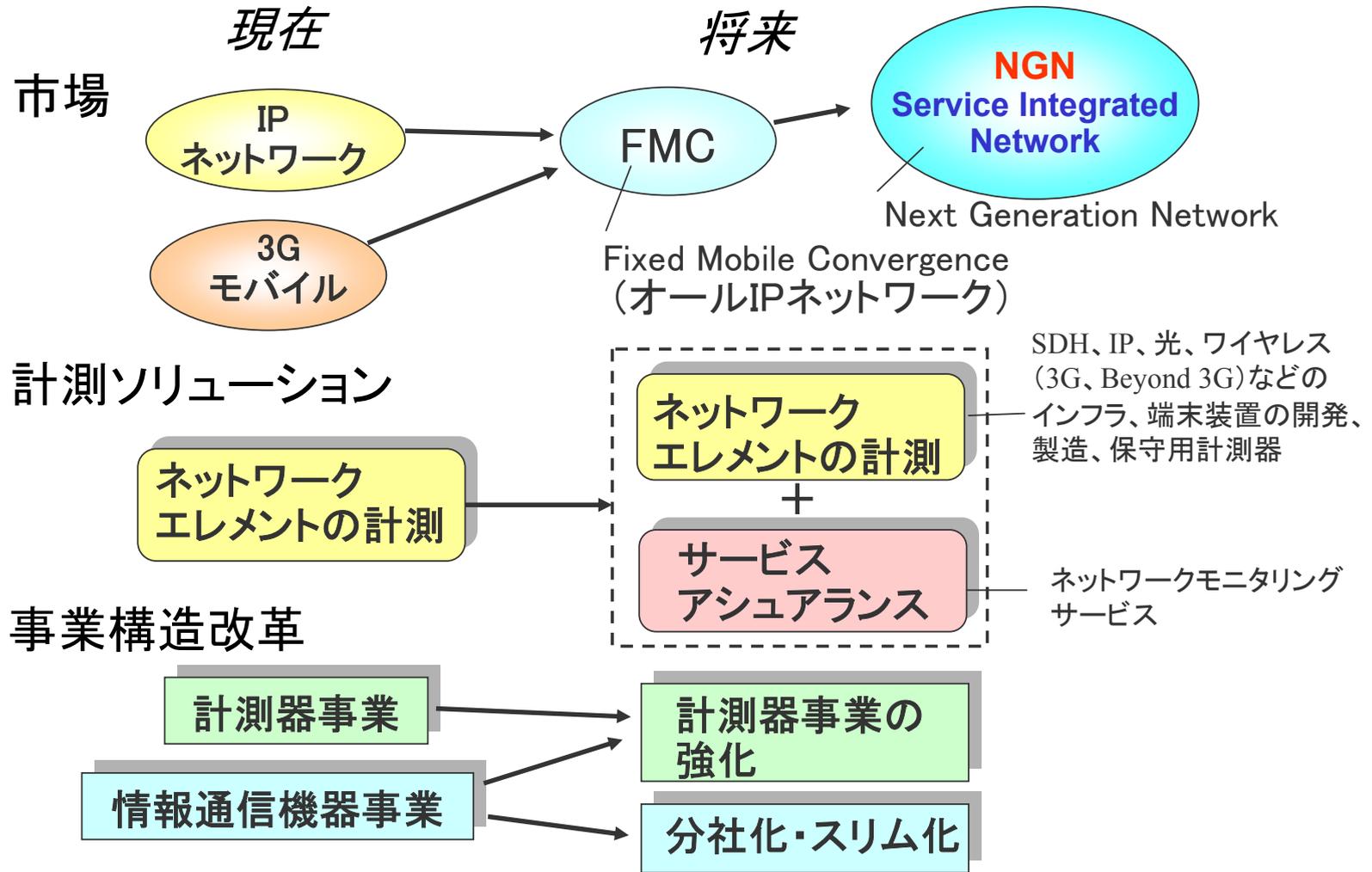
単位:億円

		FY2004 連結実績	FY2005 連結予想 旧NetTest 含む	FY2005 連結予想 旧NetTest 含まず	FY2005 連結予想 10/25 旧NetTest 含む	FY2005 連結予想 10/25 旧NetTest 含まず
売上高		840	910	860	950	900
営業利益		49	40	50	50	60
経常利益		20	10	20	20	30
税引前利益		21	10	20	20	30
当期純利益		13	△ 3	7	10	20
フリーキャッシュフロー		82	△ 70	N/A	△ 79	N/A
計測器	売上高	552	645	595	645	595
	営業利益	42	45	55	45	55
情報通信	売上高	87	70	70	100	100
	営業利益	△ 10	△ 17	△ 17	△ 9	△ 9
産業機械	売上高	122	125	125	135	135
	営業利益	10	8	8	10	10
その他	売上高	78	70	70	70	70
	営業利益	6	4	4	4	4

今後の事業展開

- アンリツの目指す方向
- 旧NetTestとの統合の推進
- 情報通信機器事業の抜本改革
- グローバル化の更なる推進
- 世界の開発拠点の拡大とローコスト生産への取り組み
- 来期の市場状況、ビジネスチャンス

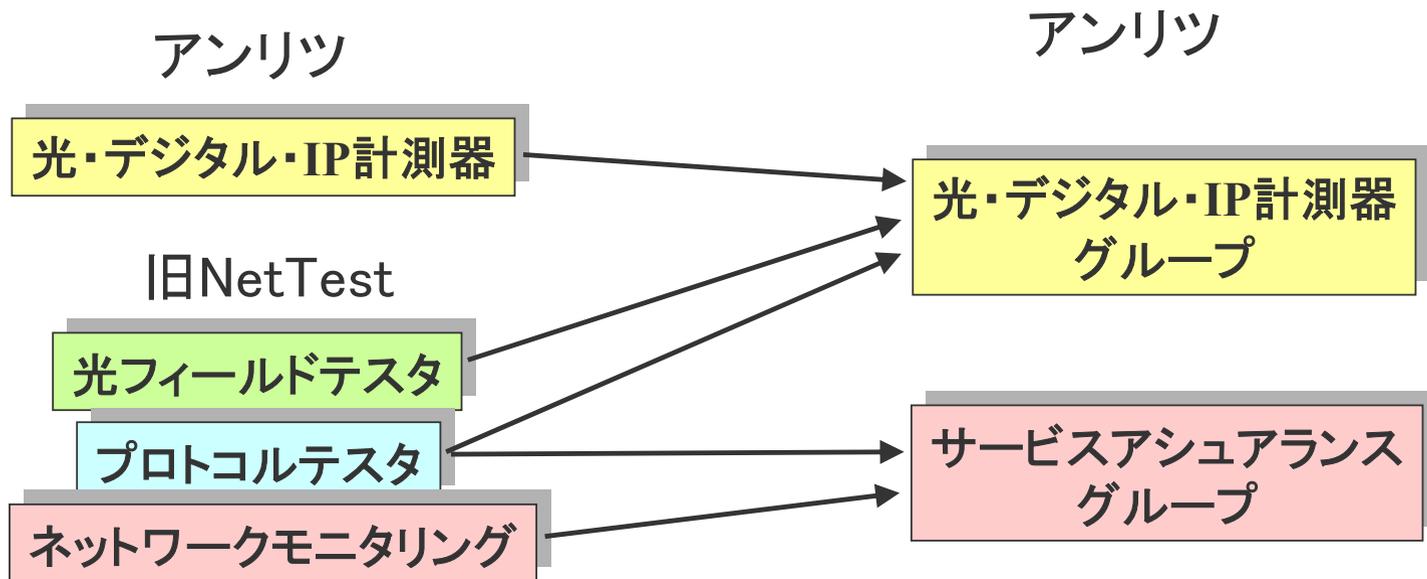
アンリツの目指す方向



旧NetTestとの統合の推進

第1次統合2005年11月完了・最終統合2006年3月完了予定

■事業部の統合と最適化



- 営業組織をアンリツに統合→営業力の地域的補完
- 営業、コーポレート部門の重複人員整理→固定費圧縮
- 開発シナジーを創出: 3Gワイヤレスネットワークモニタリングなど

情報通信機器事業の抜本改革

1. 事業再編の骨子

- ・ 採算性の悪化が加速した情報通信機器事業を縮小・再編
- ・ 情報通信アクセス事業と、サービス・アシュアランスビジネス（旧NetTestとのシナジー）への展開推進

2. 組織改革

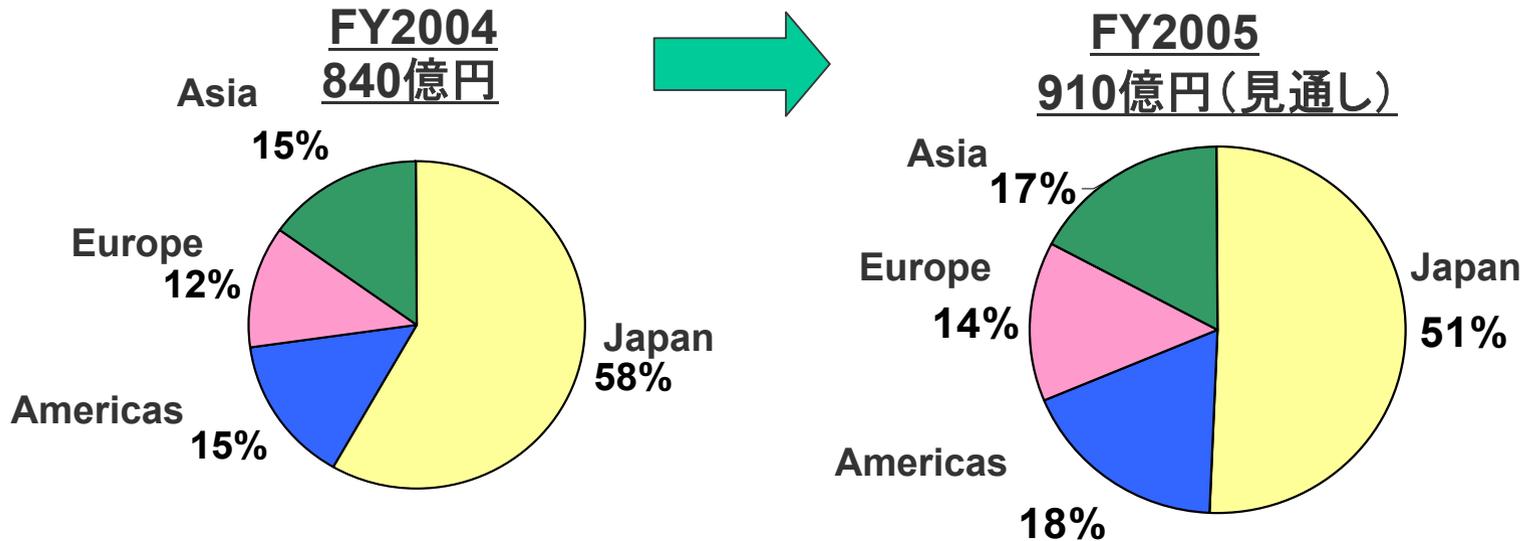
- ・ 従来分散していた事業部門を統合・集約し、独立採算を徹底させることを目的に分社化
- ・ 売上高に見合った規模にスリム化するとともに、計測器事業を中心とした成長部門へのリソースシフト

3. 収益改善策

- ・ システムエンジニアリングリソースの集約により技術力・営業力を向上し映像配信事業を更に強化
- ・ スリム化集団による自立即断型経営
- ・ 固定費削減による従来事業の収益改善

グローバル化の更なる推進

地域別連結売上分布



・販売体制を、製品群別および主要なグローバル顧客別にサポートできるようにマネジメント。

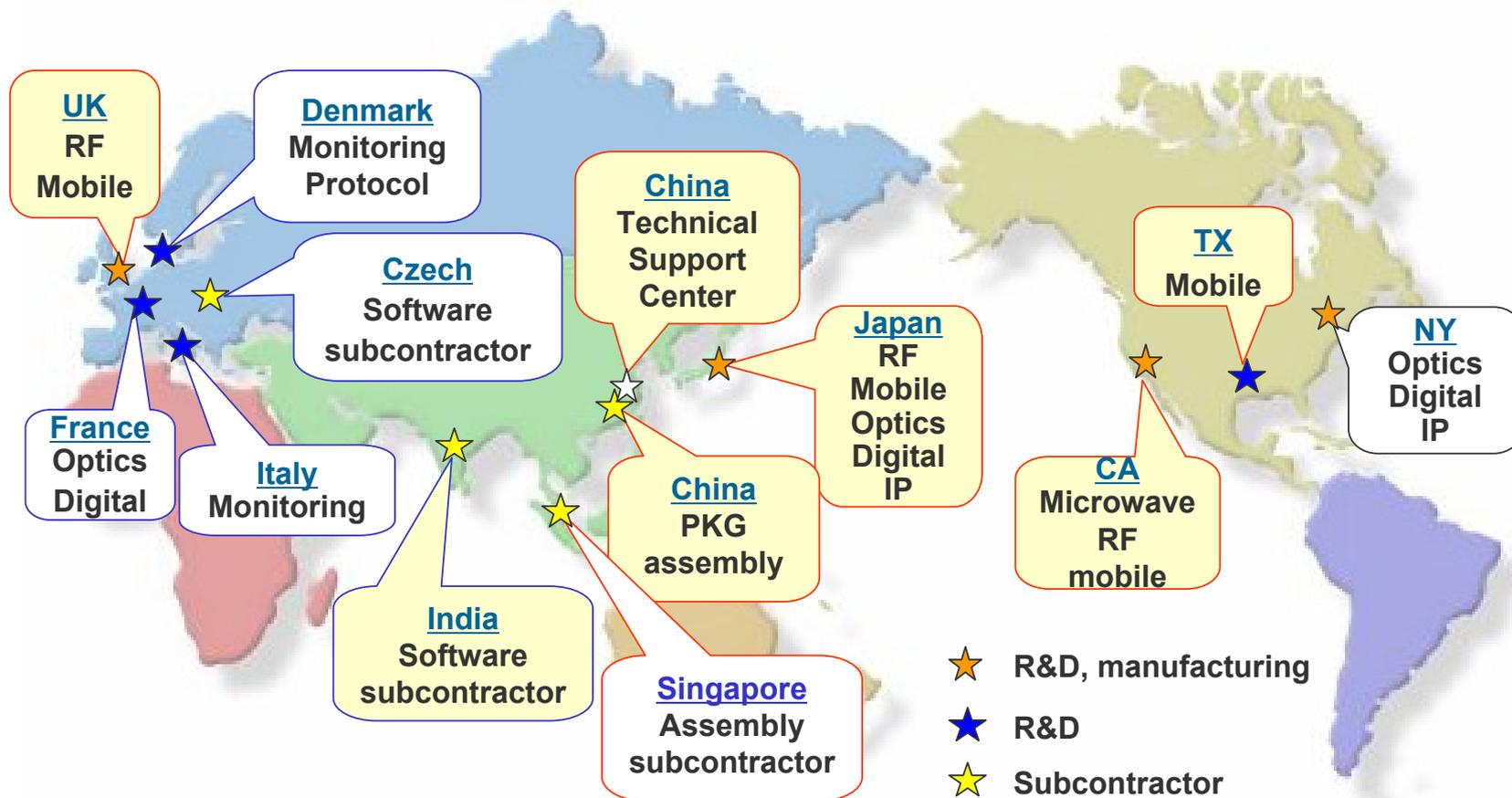
・グローバルなテクニカルサポート体制を構築。

日本、中国にサポートセンターを設置、米国、欧州はサポート要員配置。

インドにもオフィス開設。3G開発用テストの顧客サポート提供。

世界の開発拠点の拡大とローコスト生産への取り組み

■最適なソリューションをグローバルに展開するための開発および製造体制



来期の市場状況、ビジネスチャンス

- 3Gの普及
 - 海外：欧米の加入者増加、中国のライセンス
 - 日本：新規参入事業者、ナンバーポータビリティ
- 地上波デジタル放送（ワンセグ）、DVB-T/Hなど
放送と通信（移動通信）との融合
- 次世代高速ワイヤレスアクセスの開発
- 映像配信ビジネスの拡大
- 次世代通信インフラ（NGN）への投資
- サービスアシュアランスへの需要増

付録(参考)

計測器事業の取り組み：ALL IP ネットワーク

光・IPネットワーク用計測ソリューション

・旧NetTestとのシナジーで、IPネットワーク、光アクセス系のトータルソリューションを創出

IP テスタ

メトロ及びアクセスネットワークの品質評価



光フィールド計測器

光ファイバーネットワークの建設・保守をサポート

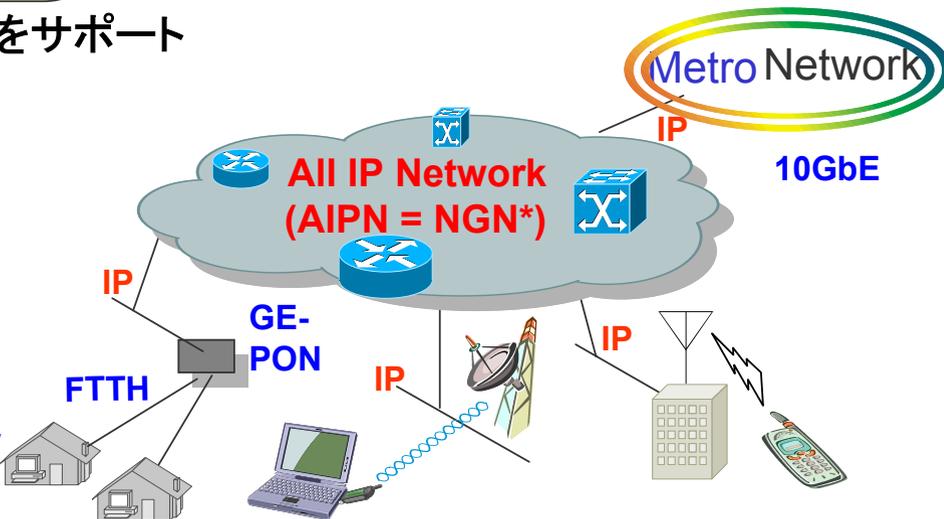
世界シェア
No.1



ネットワークモニタリング サービス

サービスアシュアランス事業の展開

Triple Play
Service



Discover What's Possible™

*NGN=Next Generation Network

Anritsu

計測器事業の取り組み：サービスアシュアランス

ネットワークモニタリングサービス

通信事業者とのパートナーシップに基づく、包括的ネットワーク品質モニタリングと最適化サービス



ワイヤレスネットワーク
モニタリングシェアNo.2

分析、報告



データ収集



Probes collecting signaling data

計測器事業の取り組み：ワイヤレス(1/2)

3GおよびBeyond 3G用計測器

- ・開発用、製造用、保守用に幅広く製品展開
 - ・3G、3.5G(HSDPA、HSUPA)の開発用、端末認証用計測器で世界No.1継続
 - ・アジア(台湾、中国)での3G端末製造用テストの本格的展開
 - ・端末サービス用テストのグローバル展開
- ・顧客へのテクニカルサポートの強化



製造用テスト

Wireless IP Accessへの対応

- ・W-LAN、WiMAXなど、ブロードバンドワイヤレス対応

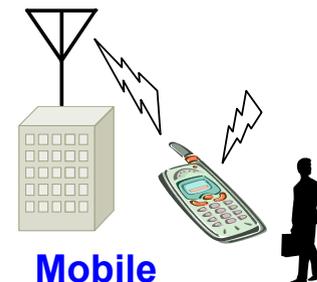


3G/3.5G開発用テスト

世界シェア
No.1



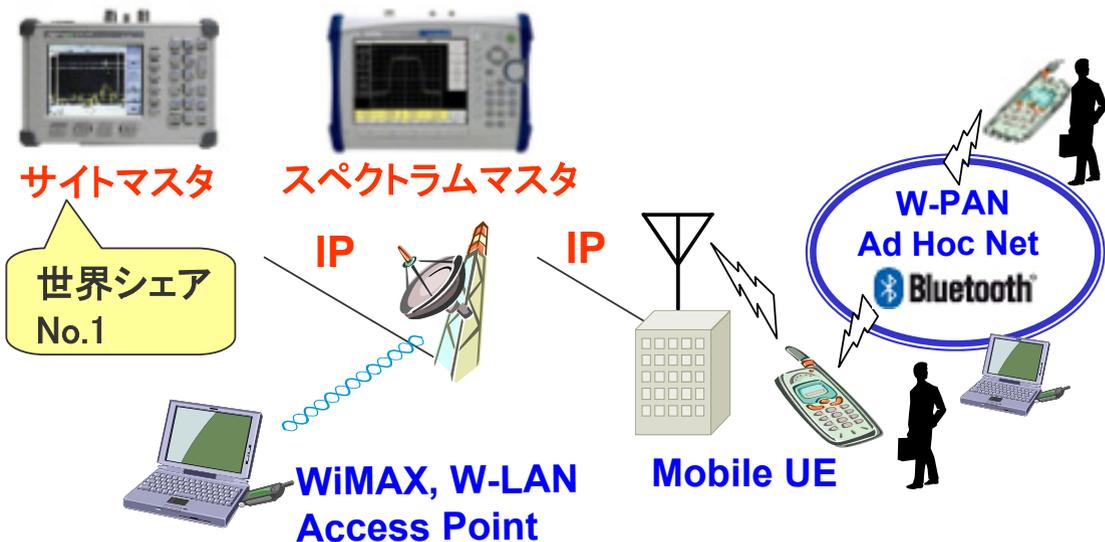
サービス用テスト



計測器事業の取り組み：ワイヤレス(2/2)

無線インフラ向け計測器(ハンドヘルド製品)

- ・競争力のある製品の継続的市場投入により
更なる成長を目指す
 - ・無線インフラ建設・保守用の“サイトマスタ”、“スペクトラムマスタ”
 - ・2G、3G携帯電話基地局用の“セルマスタ”、“UMTSマスタ”
 - ・デジタル放送用など特定用途向けハンドヘルド製品の充実
 - ・基地局の光アクセスネットワーク用の“アクセスマスタ”



注記

本資料に記載されている、アンリツの現在の計画、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。将来の業績等に関する見通しは、将来の営業活動や業績に関する説明における「計画」、「戦略」、「確信」、「見通し」、「予測」、「予想」、「可能性」やその類義語を用いたものに限定されるものではありません。実際の業績は、さまざまな要因により、これら見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。

実際の業績に影響を与えうる重要な要因は、アンリツの事業領域を取り巻く日本、米州、欧州、アジア等の経済情勢、アンリツの製品、サービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場の中でアンリツが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを提供できる能力、為替レートなどです。

なお、業績に影響を与えうる要因はこれらに限定されるものではありません。また、法令で求められている場合を除き、アンリツは、あらたな情報、将来の事象により、将来の見通しを修正して公表する義務を負うものではありません。